

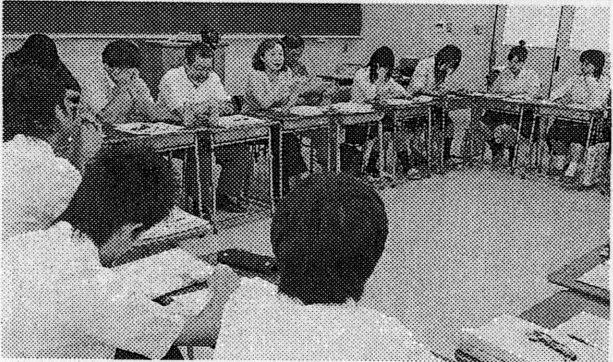
の高校生が知識を深め、調べたことを研究発表するプロジェクト「山口から見た中東・イスラム」の夏期合宿が五日から七日まで山口市で開かれている。六日はイスラム社会に詳しい東京外国語大学大学院の酒井啓子教授が山口高校を訪れ、高校生の疑問に答えた。

県内の高校生 イスラム学ぶ

山口で合宿

中東情勢について県内

イラクの復興が進まないのはなぜか—との質問には、酒井教授は、米国政府が事業を発注しても、米国企業から近隣国の企業、近隣国の企業からイラク国内の企業へと下請けの連鎖が起きている点



酒井教授（中央）と意見交換する高校生ら

いる」と解説した。

同プロジェクトは十一月

十八日に山口市で開かれる

日本中東学会

主催の公開講演会の一環。

徳山、徳山北、

山口、下関南

校の学生約二十人が六月

から、県内に住む中東か

らの留学生に聞き取りを

を指摘、「企業が利ざやを取ることで、結局必要な資金が足りなくなっ

したり、大学教授の講義を受けたりしており、公

開講演会で研究発表を行